

# 津軽三味線コラボコンサート 《プロフィール》

## (竹山流津軽三味線) 高橋竹仙



1960年 加古川生まれ(本名;丸山浩之) 1978年 加古川東高校卒業後、高橋栄山師に入門  
1980年に「竹仙」を襲名。石川県ホテル百万石専属プロ契約福井県ホテルグランディア専属プロ契約。  
1999年に南アフリカ共和国公演参加。2001年 カウントダウンイベント、出演。  
2001年 ジャズと初セッション〜サクソとのライブ活動開始2002年地元加古川にて初コンサート開催  
2003年 『高橋竹仙』を襲名 3月にはロシア公演参加2004年「津軽の風」コンサート主催  
(明石西部市民会館) 2005年2月 スペシャルレリック長野大会 北野文芸座、出演する。  
2005年6月 ピアノ・ヴァイオリンとのコンサート開催(松風ギャラリー) 2005年10月 西神吉小学校コンサート  
2006年明石労音コンサート(サンピア明石) 陵南中学校、両荘中学校、氷丘中学校の3校でコンサート



## (津軽民謡) 二代目須藤雲栄

青森市生まれ、高橋栄山、須藤雲栄両氏の長女として、幼少の頃より親しみ修行する。  
1994年クボタ民謡フェスティバルでグランプリを受賞する。  
1999年南アフリカ共和国より招かれ、ケープタウン、ヨハネスブルグなどで公演。  
現在、津軽民謡の正統派を唄える若手として、全国公演で活躍、各地で高い評価を得ている。

## (太鼓&笛)



高野 巧

新潟県佐渡ヶ島で生まれる。日本を代表する太鼓集団「鬼太鼓座(おにだま)」をリードしてきた。  
1996年には、太鼓グループ「たくみ」を結成。姫路市芸術文化賞、文化年度賞を受賞。  
迫力のある舞台とその人間性に惹かれ、ファンも多く、国内はもとより、海外での活躍も著しい。  
小沢せいじ指揮ボストン交響楽団とも共演。オーストラリア、フランス、アメリカなど、世界公演は  
20ヶ国以上にのぼる。2005年8月には、中国での公演を成功させ、日中文化交流への大きな  
架け橋を築いた。  
和太鼓の可能性を常に広げ、三味線や琴など和楽器はもとより吹奏楽や、ジャズバンド、  
ダンスチームなどとの競演を試みている。

## (コントラバス)



長谷川 悟

国内殆どどのプロオケ客演から、ウィーンを拠点にオーストリア各都市、ドイツ各都市、ブルガリア各都市、  
ホノルル、台北、マニラ等でソロ・室内楽公演し、国際的共演者や各国聴衆に絶賛された。また指揮・  
作曲・編曲・執筆活動の他、青少年国際交流演奏会に嘱望され神戸ジュニア合奏団等を総監督してドイツや  
スロバキアへホームステイ演奏旅行。  
一方、国際コントラバスセミナー in japan を26年間継続して主宰する傍ら、ドイツやオーストリアの  
夏期大学マスタークラス客員教授にも招かれ国際的にも教育活動を続ける。音楽の館コンサート協会会長。  
元、広島大学、エリザベト音楽大学、広島音楽高校、各非常勤講師。音楽の館フィルハーモニー管弦楽団  
音楽監督。兵庫県新進芸術家奨励賞、加古川市文化連名賞受賞。

## (ヴァイオリン)



稲庭 達

東京芸術大学器楽科卒業。在学中より東京フィルハーモニー交響楽団のゲストコンサートマスターを経て、  
卒業後、名古屋フィルハーモニー交響楽団(2年間)、大阪フィルハーモニー交響楽団(8年間)、大阪セン  
チュリー交響楽団(11年間)の各コンサートマスターを歴任。  
現在、くらしき作陽大学音楽学部教授、神戸女学院大学講師として教鞭をとる傍ら、東京ヴィヴァルディ合  
奏団ソロコンサートマスターを務めるのみならず、ソロ、室内楽、コンチェルト協演など精力的に全国各地  
で公演活動している。

## (ピアノ)



横田ちさと

愛知県立芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。  
ピティナヤングコンペティションG級全国大会入選。飯塚新人音楽コンクール入賞。  
摂津音楽コンクール奨励賞。東京、愛知、大阪、香川、徳島、福岡等でコンサートに出演。  
ウィーンで開催されたジャパンフェスティバルに室内楽で出演。宮原峠子、藤沢克江、  
M. v. d. フックの各氏に師事。P. ラング、K. ヘルヴィッヒ、P. アイヒャー、各氏のレッスン  
を受講。 M. v. d. フック音楽工房主宰。